

心に残る素晴らしい卒業式

3月13日に、第43回卒業証書授与式を挙行了しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者を縮小し、卒業生とPTA会長様、保護者の皆様、教職員のみの卒業式でした。ご来賓の皆様や在校生、吹奏楽部の演奏がない中での式でしたが、教職員は卒業生に絶対さみしい卒業式をさせたくないという思いで、今年度の卒業式を計画しました。

さて、感染防止としては、参加者は全員マスク着用とし、生徒席を男女各2列、保護者席をひとクラス2列+3列の5列配置で、体育館横幅いっぱいを使い、換気のために小窓を開けた状態での卒業式を行いました。当日は、例年より暖かったので、換気を行ってもなんとか、皆様の体調を崩さないですんだのではないかと思います。ご列席いただいたPTA会長様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



卒業生を送る言葉

在校生を代表して上田真緒さんが参加し、「卒業生を送る言葉」をたくさんの想いと感謝の気持ちを込めて伝えてくれました。在校生全員の気持ちとして、その一部を紹介したいと思います。

(前略) 今、先輩方との思い出を振り返ってみると、いつも私達の背中を優しく押してくださったことに改めて気付きます。私達が入学して間もない頃、慣れない中学校生活に戸惑いを感じていました。しかし、先輩方が、優しく接してくださり新しい環境にもすぐ慣れることができましたように思います。また、様々な活動の中で物事に真剣に取り組む姿。どんなことにも挑戦する姿。そして、大変さを表には出さずに明るく振る舞う姿。何もかもが私達の憧れでした。様々な思い出の中でも私は、体育祭での先輩方の姿が強く印象に残っています。仲間と団結し、優勝を目指して力強く走る姿や、今年度から取り入れられた「3年生表現」においては、リーダーを中心に素晴らしいダンスを創り上げ、その場にいた全員に感動を与えるラストを飾ってくれました。(中略)

しかし、先輩方が私達の憧れや目標になってくださったように、これからは私達が福南中学校のよい伝統を受け継いで、後輩を引っ張っていけるように全力を尽くして頑張ります。(中略) 先輩方がこれから進まれる道は決して平坦な道ばかりではないと思います。時には迷ったり、大きな壁にぶつかったりすることもあるかもしれません。その時には、この福南中学校で過ごした日々を思い出してください。周りには自分を応援してくれている大切な仲間がいること、先輩方の背中をずっと見てきた私達後輩がいること、決して一人ではないことを、覚えておいてください。きっとそこで、大きな一歩が踏み出せると思います。(後略)



別れの言葉

卒業生を代表して、仁科遼大君が、「別れの言葉」を中学校生活の思い出と共にこれからの決意を伝えてくれました。在校生の皆さんに伝えたい言葉だったと思うので、その一部を紹介します。



(前略) 3年前の私達は、新たに出会った仲間との距離があり、気持ちもバラバラで、何も協力できていませんでした。そこで学級委員長会で話し合い、何か全員で目指すものがあれば最高の学年になると、学年目標を立てました。それが「ONE ひとつになる」です。お互いに協力し合い、まとまりのある学年を目指す、そんな想いを込めた目標です。その目標を合い言葉に、私達は数多くのことに挑戦してきました。(中略)

そして、3年生。この一年間で学校に何を残すか、最高学年として後輩たちに何を伝えるか、自分たちの役目を考えました。そんな1年の始まりは、修学旅行です。私達は平和学習として沖縄戦について語り部の方に講演して頂きました。「沖縄戦はあらゆる地獄を

一カ所に集めたもの」「戦争は生涯消えることのない悲しみをつくる」という言葉から、命の尊さ、平和の大切さをもう一度考え直しました。沖縄独自の文化や沖縄の人の温かさを感じる短くも貴重な体験をすることができました。

一方で、沖縄のシンボル首里城の焼失は心を痛めました。沖縄の地でこの目で首里城を見たからこそ深い悲しみを覚えました。一日でも早く、首里城が元の姿に戻ることを心から願います。

そして、福南中の歴史を変えた体育祭。行事を盛り上げたい、自分たちが主役になるんだという思いで、3年生全員でダンスに挑戦しました。プログラムも自分たちの手で作り上げるという福南中学校史上初めての試みでした。しかし、本当にできるのか、全員踊れるようになるのかなど不安も多くありました。しかし、最後の体育祭を最高のものにするためダンスリーダーを集め、休みの日も準備をしました。そして本番では、学年全員で作ったダンスで「ONE ひとつになる」ことができました。そしてひとつになった3年生の姿を、自分たちを支えてくださったすべての人に見て頂くことができました。(中略)

この福南中学校で過ごしたすべての時間がかげがえのない宝物です。ここまで一緒に頑張ってきた仲間と離れてしまうのは、本当に寂しいです。しかし、私達の心の中には常に仲間との思い出が詰まっています。決して一人になることはありません。それぞれの道を全力で歩んでいくことをここに誓います。(後略)

送別の歌



今年度から、ステージ前にひな壇を設置し、卒業生が全員台の上に立って、保護者の皆様に向かって合唱しました。「りんどう」をマスクをしたままでしたが、それぞれのパートで仲間を信じ、素晴らしい歌声を響かせました。こども「ONE」になった力の大きさを披露してくれました。福南中初のチャレンジを成功させてくれた卒業生の皆さんありがとう。

旅立ち

今年度から、卒業生は自分たちだけで式場を旅立つことを決めました。卒業生退場のアナウンスで、3年担当の先生方は、体育館入り口に移動し、卒業生を見送りました。卒業生は、学級委員長の号令のもと、一礼し、学級委員長が先頭に立って、それぞれの学級の保護者の間を堂々と退場していきました。

もう自分たちだけで、歩みを進めることができるね。いつも応援しています。



卒業式には、昨年度この学年の担当で、病気で倒れた金田先生も、困難なことがあっても諦めないでほしいというメッセージを伝えるために車椅子で参加してくれました。

担任の先生方は、袴姿で旅立ちを華やかにお祝いしました。

